

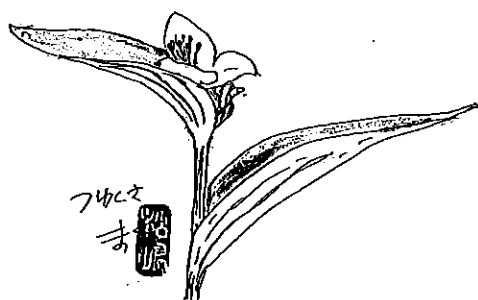
記念すべき・・・

ここ数年、メジャーリーグでの大谷選手の活躍がニュースになっていますが、先日もメジャー通算100号のホームランを打ったということが大きく報じられました。今後、どれだけ量産するのか、それもまた楽しみの一つです。ところで「なぜ、これが今回の話題？」と思われたことでしょうか。まあ大したことはないのですが、今回この学校通信も3年目にして通算100号を数えたので、「ああ、同じだ」と思い話題にあげた次第です。

私の好きな言葉の一つに「継続は力なり！」があります。私が校長になって、ずっと続けているのがこの学校通信の週1回の発行(ただし、長期休業中は除く)です。ちなみに、これまで全てを通算すると286号になります。量的には多くもなく少なくもなく・・・とっていますが、毎週続けるとなると結構きついものがあります。「それでも続ける！」これに意義があると思っています。私達は日々の積み重ねで、人としての財産を手にかけています。生徒にとっては、それが学力であり、体力であり、コミュニケーション力であり、更に言えば人間力であります。小さな積み重ねが、何より大きな力になることは間違いありません。「継続は力なり！」なのです。今、“続けて頑張っていること”がない人は、さっそく何か始めてみませんか。卒業するときには必ず力になりますし、自信にもつながります。手っ取り早いのは家庭学習でしょう。1日1時間を1年間続ければ365時間になります。読書でも良いです。1日10ページ読めば1年間で3650ページになります。“塵も積もれば山となる”なのです。ぜひ取り組んでみてください。



頑張れ先輩！



先日の体育大会で、見慣れない若者2人が生徒と一緒に走っていたのに気づかれたのでしょうか。実はあの2人は今年の教育実習生(保健体育・福田航平君、社会科・池田龍太郎君)で、体育大会当日が実習の初日でした。彼らは中学時代にそれぞれ野球部・陸上部で活躍しており、駅伝の選手でもあったということで、飛び入りで中距離走に出場してくれました。久々の中距離走で結構きつそうではありましたが、若さでカバーしていたようです。ただ、それ以上に大変なのが実際の実習。先週は先生方から講義を受け、授業を参観し、部活動にも顔を出し・・・と大忙しでした。今週から実習授業の準備も始めており、これからさらに大変になるかと思いません。多くのことを学び、懸命に努力する姿は、中学生のよき手本にもなるはずですが、2人には、自分のため、後輩である生徒のため、精一杯がんばってほしいと思います。

生徒会黒板のメッセージ

“よじ登ることのない者は、決して落ちない” <ジョン ヘイウッド>

～失敗を恐れるな、ぼくたちはまだ中学生だ～